

日本環境教育学会 第09-2回運営委員会議時要録

2009年7月24日16:00~18:00 (東京農工大学)

出席者／阿部・岡島・林・谷口・降旗・諏訪・陸・井元・原田・比屋根・本庄・山田・増田・植田・福島・萩原・中野・森・鈴木 (会計監査)

1. 第09-1回運営委員会議時要録の確認を行った。

<報告事項>

2. 2009年度大会：7月22日までに事前参加申込298名、懇親会申込115名があった。(降旗)

3. 2010年度大会：琉球大学で5月22日、23日で開催する。(阿部)

4. 2008年度決算：8点の修正項目指摘を受け、修正して総会に諮ることとなった。(諏訪)

5. 韓国環境教育学会との交流協定：6月20日に岡島委員(会長の代理)と崔会長の間で調印した。(諏訪)

6. 公聴会：大阪のきんき環境館で6月13日に規約改正等の公聴会を実施した。(諏訪)

7. 退会確認：退会者3名の確認を行った。

8. 共催・協力・後援・協賛等の依頼：4件。

9. その他：除籍対象者の対しては残留を働きかけることにした。(諏訪)

<協議事項>

10. 新入会員：個人会員31名(うち学生会員10名)と2団体を承認した。

11. 北海道の支部の設立：経緯を説明し、支部規約(案)と幹事候補名簿を添え総会に諮ることを決定した。

12. 規約改正：大阪の公聴会における修正意見に基づき数カ所修正して総会に諮ることを決定した。(陸)

13. 2009年度事業方針：16項目とその具体化について説明し(阿部)、特任委員の項の文言を修正して総会の議案とすることとした。

14. 2009年度予算案：08年度の収支がよかったので09年度のみ事業を中心に配分増する旨が説明され(諏訪)、総会に諮ることを決定した。

15. 各委員会からの報告(1)編集委員会より、プロジェクト研究の公募の可能性が要検討課題であることが述べられた。(降旗)(2)企画委員会より、日本生活体験学習学会、こども環境教育学会との共催事業を検討中であることが報告された。(岡島)(3)広報委員会(イノベーションを含む)より、向中野裕子さんが学会WEB管理を補佐しており、順調に進行していることが報告された。(林)(4)国際交流委員会より、①中国と連携強化②台湾と交流推進③韓国との交流の実質化の3点について今後推進する予定が述べられた。(谷口)

16. 学会活性化ワーキンググループ：本年度より発足させる予定であり、当面、常任運営委員と各支部からの代表者で構成する方針が述べられた。(阿部)

17. 選挙制度改正ワーキンググループ：新規に発足させ、陸委員を中心に検討してほしい旨が述べられた。(阿部)

18. 田んぼ国際環境教育会議：20周年記念事業の一つである「田んぼ国際環境教育会議」を10月31日、11月1日に清里で開催する予定で準備を進めていることが報告され、了承された。(谷口)

19. 環境教育推進法への対応：衆議院解散で改正案は廃案になったので新たなテコ入れも要検討であることが述べられた(阿部)

20. 今後の運営委員会の予定：12月13日、3月20日→3月22(10月に日程変更を決定、通知)以上